

事業番号	05 07 03	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	感染症対策事業		部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
			実施期間	S26～	E-mail	hoken-shippe@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	健康長寿					
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実					

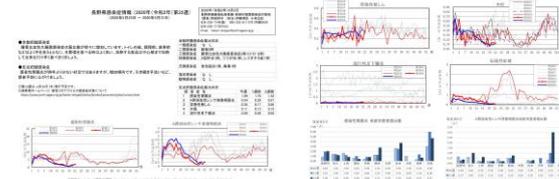
1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 国際交流の進展などにより、ひとたび感染症が発生した場合は一気に広がる懸念がある。また、麻しんや風しんの国内（県内）での流行の拡大や性感染症の広がりも懸念されているところ。 平成29年度に県内で届出のあった感染症（全数把握感染症）は30疾患となっている。
	【目指す姿】 感染症が発生した際の拡大防止を図り、県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進していく。 また、感染症にかからないための予防啓発も引き続き実施していく。
	【実施内容】 感染症発生動向調査、新型インフルエンザ対策、結核予防対策、ウィルス肝炎対策 など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
1	結核罹患率	8.1	9↘	7.6↗	10以下		達成	現計予算	444,884	709,229
2	感染症指定医療機関の数(現状維持)	11医療機関	11医療機関	11医療機関	11医療機関		達成	合計(A)	444,884	709,229
3	麻しん風しんの2期定期接種率	94.8%	95.2%↗	94.9%↘	95%以上		未達成	うち一般財源	257,628	430,467
4								決算額(B)	313,453	366,282
							職員数(人)	59.4	59.4	

成果指標設定理由	<ul style="list-style-type: none"> 1 接触者検診の実施などにより、結核の早期診断、感染拡大防止に努め、低蔓延状態とされる罹患率10以下を維持する。 2 感染症指定医療機関を維持し、必要な備品等の整備を促進することにより、万が一の感染症発生に備える。 3 風しんに関する特定感染症予防指針に定める接種率目標である95%以上とし、麻しん・風しんの発生を予防する。
----------	--

達成状況の分析	<ul style="list-style-type: none"> 1 結核の早期診断、感染拡大防止に努めた。 2 感染症指定医療機関を維持したことにより、県内で新型コロナウイルス感染症感染者が発生した際にも対応できた。 3 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、当該感染症への感染を恐れて医療機関の受診を控えた者が一定数存在したため、前年よりも接種率が低下したと考えられる。
---------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓感染症の流行状況を調査し公表 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関等の協力を得ながら週報及び月報により情報を提供 感染症情報（週報52週、月報12週） 	 <p>【感染症公表資料】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ✓感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全研究所における行政検査の実施 ・各保健所における性感染症等の検査・相談事業の実施 ・啓発パンフレットの作成 	 <p>【環境保全研究所での行政検査の様子】</p>

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症については、感染拡大の懸念や危機感が強まっている。 引き続き、感染症の拡大防止に努めることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症が発生した際の県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進。 ・必要な検査機器等の設備を整備することによって体制強化を図り、今後の感染症発生に備える。

事業番号 05 07 03 細事業一覧（令和元年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
-----	---------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	感染症対策事業		60,078 千円	104,472 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	感染症健康診断事業	直接	健康診断検査用医薬材料の購入、感染症検査機器（遺伝子配列読取装置）の更新を行った。	
2	感染症入院医療費負担事業	直接	感染症患者を指定医療機関へ移送する体制を整備し、新型コロナウイルス感染症感染者が県内で発生した際には搬送を行った。	
3	感染症指定医療機関補助事業	直接	感染症指定医療機関（第一種：1病院、第二種：10病院）の運営費に対して補助を行った。	
4	予防接種対策事業	負担金	予防接種により健康被害を受けた者に対し、医療費、障がい年金等を負担した。	
5	予防接種対策事業	委託	長野県立こども病院に予防接種センター業務を委託した。	
6	新型インフルエンザ等対策推進事業	直接	新型インフルエンザ対策として、抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス実施要領に基づき、薬剤耐性確認検査を実施した。	
7	風しん抗体検査事業	委託	各保健所及び委託医療機関において、風しん抗体検査を実施。合計514件の検査を行った。（保健所実施分の検査は(株)北信臨床へ委託）	
8	医療提供体制確保事業	補助金	新型コロナウイルス感染症感染者が県内で発生したことを受け、今後の更なる感染拡大に備え、医療機関が患者受入を行うために必要な設備整備費について補助を行った。（令和2年度へ繰越）	
9	PCR検査体制強化事業	直接	新型コロナウイルス感染症対策として、環境保全研究所のPCR検査体制を整備した。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	感染症調査予防事業		20,607 千円	29,119 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	感染症発生動向調査事業	直接	感染症の発生状況を収集・分析するため、届出医療機関への協力謝金や、環境保全研究所で行う検査のための医薬材料を購入した。	
2	感染症流行予測調査事業	直接	インフルエンザや麻しん・風しん等の感染症の流行予測を行うため、環境保全研究所が実施する検査に係る医薬材料を購入した。	
3	感染症健康診断等予防対策事業	直接	インフルエンザ様疾患の集団発生の状況把握のため、環境保全研究所が行う検査に係る医薬材料を購入した。	
4	予防接種後健康状況調査事業	直接	予防接種後の被接種者の健康状況について情報を収集した。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R1年度 決 算
3	結核対策事業		53,484 千円	62,478 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	結核健診事業	直接	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施するための医薬材料を購入し、1,380人に対し健診を実施した。	
2	結核健診事業	委託	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の305人に対し検診を医療機関へ委託して実施、患者・感染者の早期発見及び治癒後の者の経過観察に努めた。	
3	結核医療費負担事業	直接	通院患者及び入院勧告患者に対して医療費の公費負担をした。	
4	結核健康診断補助事業	補助金	私立学校及び私立施設が行う定期健康診断に要する費用について、178事業者に対し補助した。	
5	結核定期病状調査事業	直接	結核の二次感染等を防ぐため、結核登録者のうち病状把握が困難な者259人について、医療機関等へ依頼し259人の病状を把握した。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R1年度 決 算
4	結核特別対策事業		366 千円	437 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	結核予防総合事業	直接	結核患者の服薬確認(DOTS)を徹底するため、服薬手帳を300部作成し、患者に配布した。	
2	結核予防技術者研修事業	直接	結核業務に従事する保健所職員4人(医師2人、保健師2人)を結核研究所研修に派遣した。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R1年度 決 算
5	特定感染症(エイズ・性感染症)対策事業		6,835 千円	6,481 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	直接	保健所が行うHIV等の性感染症の無料検査に係る医薬材料費を購入し各保健所に配布した。高校生用の啓発パンフレットを作成した。	
2	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	委託	各保健所において性器クラミジア感染症等検査を実施した。(榑北信臨床へ委託)	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R1年度 決 算
6	ウイルス肝炎対策事業		171,867 千円	163,128 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	ウイルス肝炎対策事業	直接	ウイルス肝炎診療懇談会を開催するとともに、ウイルス肝炎患者の経済的負担軽減を図るため、慢性肝炎、肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費の一部を負担した。	
2	ウイルス肝炎対策事業	委託	肝疾患診療連携拠点病院(信大)に肝疾患診療相談センターを設置し、相談業務を委託した。各保健所においてウイルス肝炎検査事業を実施した。(榑北信臨床へ委託)	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R1年度 決 算
7	ハンセン病対策事業		216 千円	167 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	ハンセン病対策事業	直接	2か所の療養所に訪問し、入所者との交流を行った。里帰り事業は希望が無かったため未実施。	